

ぼうさい探検隊マップコンクールの表彰式を開催

～埼玉県・神奈川県・茨城県で栄誉を称える～

日本損害保険協会関東支部（委員長：濱中 武・損害保険ジャパン株式会社 法務・コンプライアンス部 コンプライアンス室担当部長 コンプライアンスオフィサー）では、このたび、第19回小学生のぼうさい探検隊マップコンクールで入賞した4団体に対して表彰式を開催しました。

第19回となる今回のコンクールでは、全国の小学校、子ども会、児童館、少年消防クラブなど410団体から6,137人が参加し、1,179作品が寄せられた中、全部で22作品（入賞9作品、審査員特別賞8作品、デジタルマップ特別賞5作品）が入賞しました。

このうち、関東支部所管地域では、水害の危険性を市に提言し、熱心に地域の特性を調べてまとめた作品として評価され、「防災担当大臣賞」を受賞した「蓮田安心探検隊」（埼玉県）の表彰式を2月7日に蓮田市役所で実施しました。

また、「燃え広がらない町へ」をテーマに、子どもたちの目線でしっかりと調べられていることが評価され、「消防庁長官賞」を受賞した「公益財団法人かわさき市民活動センター 東小田小学校わくわくプラザ」（神奈川県）については、表彰式を2月16日に同団体で実施しました。

さらに、「審査員特別賞」を受賞した「公益財団法人かわさき市民活動センター 宮崎こども文化センター」（神奈川県）は、まち歩きを通じて確認した内容が地域を守るための提案に繋がるマップとなっていることが評価され、表彰式を2月8日に同団体で実施しました。

加えて、「まち探検アプリ」搭載のタブレット端末で作成した作品に贈られる「デジタルマップ特別賞」を受賞した「大野小学校 野木崎地区探検隊」（茨城県）については、3月17日に同小学校で表彰式を実施しました。

このほか、関東支部所管地域では「みやだ探検隊」（長野県）が、地域に応じた課題を洗い出し提案に繋がった作品であるとして「キッズリスクアドバイザー賞（日本損害保険代理業協会賞）」を受賞しています。

各地で開催された表彰式では、表彰動画の上映の後、主催者を代表して、損保会長（※）から表彰状および副賞の授与、作品の講評のほか、受賞団体の代表児童や指導者から、本取組みに当たっての工夫や注力した点の説明がありました。各団体ともマップの作成にとどまらない、自分の住む街をより良くするにはどうしたらよいかを、深く考えて、進めてきた真摯な姿が見られました。

当支部では、今後も関係機関・団体等と連携し、ぼうさい探検隊を中心に、防災教育活動の普及啓発に取り組んでまいります。

※ 埼玉損保会長：田名田曜行（損保ジャパン社 埼玉中央支店長）、表彰式は吉野公輔会長代理が出席。

※ 神奈川損保会長：山本 政明（損保ジャパン社 横浜中央支店長）

※ 茨城損保会長：中條 太志（損保ジャパン社 執行役員待遇茨城支店長）

【ご参考】

「ぼうさい探検隊」とは、子どもたちがまちを探索しながら、まちにある防災、防犯、交通安全に関係のある施設や設備を発見し、マップにまとめる実践的安全教育プログラムです。子どもたちの防災意識の向上や地域コミュニティの強化を目的として実施しています。日本損害保険協会では、内閣府、文部科学省、警察庁、消防庁、気象庁など行政機関や団体の後援を受け、2004年から毎年、マップコンクールを開催し、作成したマップを表彰しています。

<参考リンク>

■第19回「ぼうさい探検隊マップコンクール」入選作品決定

https://www.sonpo.or.jp/news/release/2022/ctuevu00000152sh-att/2212_03.pdf

■第19回「小学生のぼうさい探検隊マップコンクール」表彰動画を公開

https://www.sonpo.or.jp/news/notice/2022/pdf/2301_02.pdf



防災担当大臣賞の表彰式（埼玉県）



消防庁長官賞の表彰式（神奈川県）



審査員特別賞の表彰式（神奈川県）



デジタルマップ特別賞の表彰式（茨城県）

※表彰式は、新型コロナウイルス感染拡大防止のための対策を厳重に講じたうえで執り行いました。